

事前質問に対する回答

Q 磐田市として力を入れて成果だと思えるものはこういったところでしょうか？

A 一例を挙げると、こども医療費の無料化があります。中学校卒業までの子ども達に対しての医療費無料化は平成 29 年度より実施してきましたが、令和 4 年 10 月に市民からの要望が多かった高校生年代の医療費無料化を始め、「無料になって助かっている」との声を多数いただいています。

Q 磐田市特有の課題はなんですか？

A 磐田市特有ということではなく、外国人の多い静岡県西部地区ではよくあることだと思いますが、外国人世帯の中には住民票を動かさずに帰国してしまう方もあり、子どもが国内にいないことが後で判明したケースが何度かありました。

Q 女性の一般行政職と比較した、有給取得率、育休取得率、育休の取得期間についてはいかがですか？

A 有給は皆さん取得していて、令和 4 年度データになりますが、有給取得日数（平均）としましては事務職員が 10.8 日間、園に勤めている職員が 11 日間です。育休につきましても皆さんが取得しておりまして、育休の平均取得期間が事務職員は 634 日、園に勤められている職員が 894 日となっております。

Q 内閣府の「平成 29 年度 幼稚園・保育所・認定こども園等の経営実態調査」によれば、私立保育園の平均給与年額は常勤で 314 万円とのこと。自分の子供にはなってしまうとは思ってしまいます。

女性社会において、妊娠は職場内で順番で回ってくるという話があるが、磐田市の保育園では職員同時に妊娠してしまって人手不足という嬉しい悩みが保育園課に相談あるか。

A 市内の園に勤めている職員が同じ時期に妊娠するということはあります。育休・産休による人手不足は、多くの園が抱える問題ですが、突然の休職とは異なり、妊娠が判明してから産休まで期間があるので、計画的な雇用や法人内の異動などで対応しています。しかし、昨今の保育士不足により簡単な補充は厳しい状況です。

行動指針 2 施策 1

Q 子ども子育て会議にて意見を聞き、今後の子育て支援施策について検討した。とあるが どのような意見がどのような形で活用されているか？委員の発言の精度が上がるので参考に教えていただきたい。

A 子ども・子育て支援事業計画に基づき実施している事業の実施状況及び今後の方向

性について、委員から意見を聴取し、事業を実施していく上での参考にさせていただいています。

4ページ、行動指針3 施策1の(2)「母子健康手帳の交付と保健指導」

Q 前回よりも喫煙飲酒妊婦が増えているがなぜか？まったく同じ調査か？ 梅毒も増えているとニュースで聞かすが、磐田市にも広まっているのか？妊婦に対し梅毒に対するアプローチはしているか？

A 25～29歳の妊婦における喫煙・飲酒の割合は増加傾向ですが、理由は不明です。母子健康手帳交付時や面談時に聞き取りで喫煙、飲酒の実態を確認しています。梅毒につきましては、初回の妊婦健診で検査はしていますが、健診の結果までは管理していないため理由は不明です。梅毒に限らず、妊婦へのサポートは寄り添いながらトータルでサポートしています。

行動指針4の施策2(2)

Q 生活困窮者とあるが、身近におらず実態がわからない。具体的にどのような生活をしているのか。食料がなくて餓死してしまうような人も磐田市にはいるのか？

A 生活困窮者というのは、児童扶養手当受給世帯や住民税非課税世帯、生活保護受給世帯等のことです。食料がない場合はフードバンクを使ったりして、なんらかの支援や制度を利用しているため、市で把握している限りではそこまでの方はいません。

行動指針6施策2(3)交通安全

Q 御厨駅の南側の医王寺の交差点で、警察が一時停止無視をしないか定期的に鼠取りを過去していました。昨年か今年にそこで交通事故で死亡者が出て、事故後に信号機が立っています。今は、警察は御厨駅北側のロータリー北側の交差点で鼠取りをしています。神明中学校、東部小学校の子が亡くなる前にここにも信号機が必要と思います。

A 信号機の設置につきましては警察の管轄になります。信号機設置に係る一般的な流れとしましては、自治会を通して、地域からの意見ということで市（道路河川課）に要望を挙げていただきます。地域から挙げられた要望は道路河川課が定期的に警察へ持って行き、提出しています。なお、要望は随時受付しています。